

販売サービス

MONODZUKURI

# モノづくり

## メッキ加工

# 内径5mm穴空きボルト対応

ダイワエクセル社長

水野 善仁 氏



ダイワエクセル(名古屋市中種区)はメッキ加工を手がけ、その9割以上を自動車向けが占める。従来は困難と考えられていた小さな穴の空いた袋構造のボルト内部にメッキ加工を施す技術を確立するなど、新市場の創出に力を注いでいる。また、自動車向けの比率が高いがゆえに、自動車以外の分野開拓も課題となっている。水野親則会長から交代し、4月に就任した水野善仁社長に事業戦略などを聞いた。

(名古屋・今村博之)

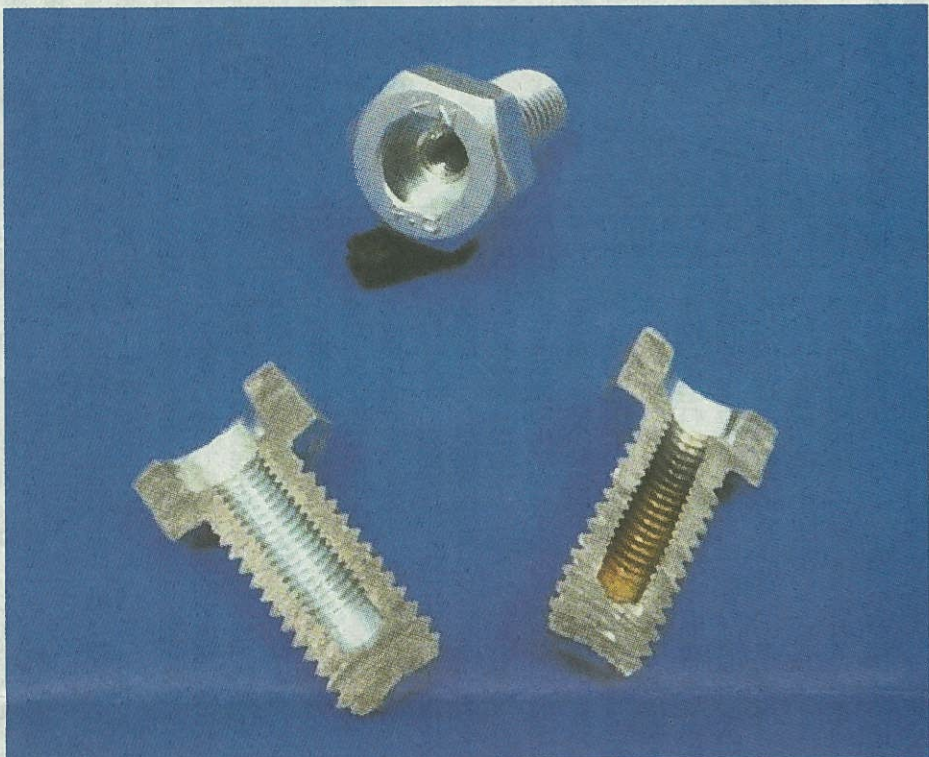
「メッキ業界の現状は、メッキ業界の技術力は日本が一番だと思う。メッキ技術が乏しいため初めから部品を塗装して補う国もある」

「自動車業界向けに関しては、完成車の国内生産に比例するため仕事は増えていない。さらに、金属部品がメッキ加工の必要がない樹脂部品に代わるなど素材の変更という逆風もある。た

## 市場をつくる

「このほど内径5mmの穴が空いたボルトの内部にメッキ加工する新技術を確立しました。」

「内径が小さいと表面張力によりボルトを傾けてもメッキ液が中から抜けない。また、電極を中に入れるのも難しい。新しい手法は加工プロセスや被膜成分は従来と同じだが、被膜の付け方が技



内部にメッキ加工したボルトと、メッキ加工ができていないボルト

## 航空機に照準 展示会参加

「特殊ネジ・ボルトで引き合いが増えているのに対して、3年前に航空宇宙産業で国際戦略総合特区に指定されている。亜鉛メッキも強いが、使う場所によってはサビてしまうので、これからの亜鉛ニッケル合金メッキの需要拡大を見込んで先行投資した。複雑形状や難メッキ材などの顧客が困っている分野で貢献して、同業他社でできないものを手がけた

## 培った技術 PR必要

複雑形状の部品に電気亜鉛メッキを施す技術に強みを持つ同社。自動車産業の拡大とともに事業を育成してきたが、自動車メーカーが生産の海外移転を進める中で従来の必勝パターンは通じにくくなっている。大手メーカーからの受注に偏る中堅

・中小企業は既存顧客以外への営業力が弱く、同社も技術力で大手取引先から信頼を得ているので積極的な営業活動がなくとも仕事が取れていた。外部環境の変化に伴い、培ってきた技術を幅広く正当にPRする力が求められている。



「2012年7月に本」